



CHAPTER 1

概要

Cisco EnergyWise を使用して、EnergyWise ネットワーク内の受電装置のエネルギー消費量を管理します。

- 「EnergyWise ネットワーク」(P.1-1)
- 「ネットワーク例」(P.1-3)

Cisco EnergyWise をサポートしているシスコ ネットワーク デバイスのリストについては、Cisco.com の『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』を参照してください。

Cisco EnergyWise については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/tsd_products_support_series_home.html

EnergyWise パートナー情報については、次の URL にある Cisco Developer Network を参照してください。

<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>



警告

Voice over IP (VoIP) サービスおよび緊急コール サービスは、電源障害や停電が発生している場合は機能しません。電源が復旧した後は、装置をリセットまたは再設定して、VoIP および緊急コール サービスへのアクセスを回復しなければならない場合があります。米国では、この緊急番号は 911 です。国内の緊急番号を知っておく必要があります。

この警告については、付録 A の「重要な通知」を参照してください。

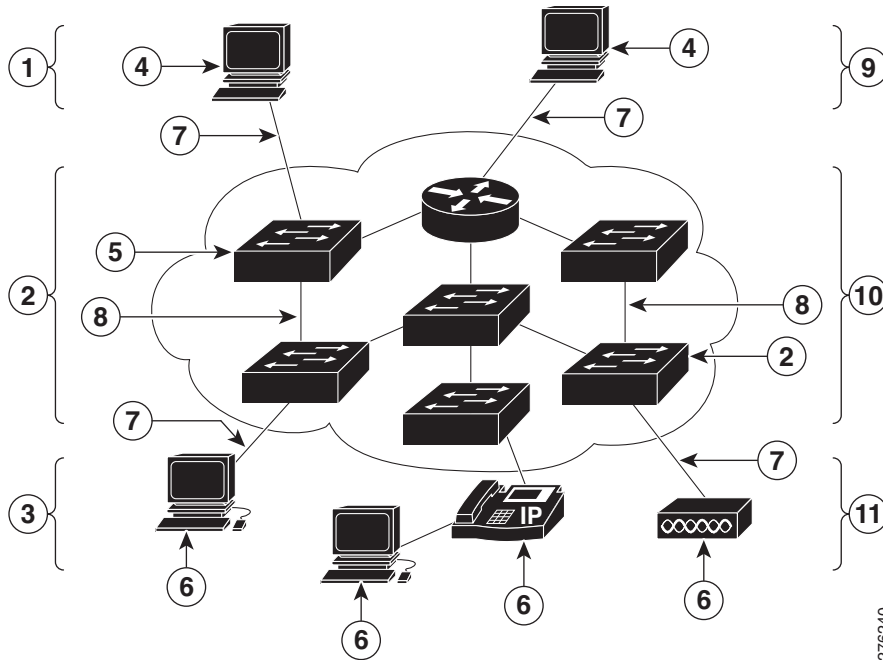
EnergyWise ネットワーク

Cisco EnergyWise ネットワークでは、EnergyWise が受電装置、つまりドメイン内のシスコ デバイスと接続しているすべてのエンドポイントの電力消費量をモニタおよび管理します。

エンドポイントは、IP Phone、アクセス ポイント、PC など、ネットワークに接続しているデバイスになります。

繰り返しイベントまたは繰り返しとも呼ばれるポリシーを設定し、time-of-day 設定を使用して電力消費量を自動的に管理できます。

図 1-1 EnergyWise ネットワーク



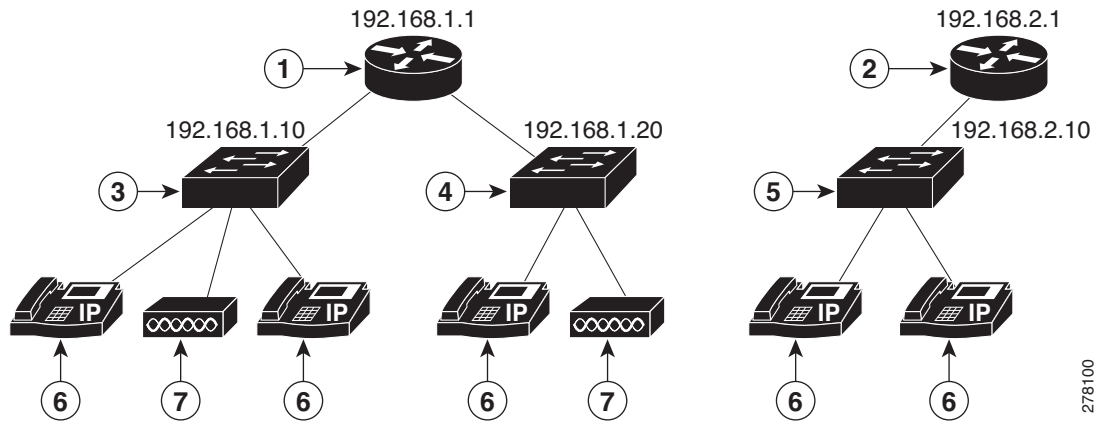
276240

1	ネットワーク管理ステーション	7	TCP
2	ドメイン メンバー	8	UDP
3	エンド ポイント	9	クエリーの実行
4	管理ステーション	10	クエリーの実行、転送、およびクエリーへの応答
5	ドメイン メンバー	11	クエリーへの応答
6	エンド ポイント		

- 管理ステーション：EnergyWise を使用してドメイン メンバーおよびエンド ポイントの電力消費量のモニタと管理を行うコントロール アプリケーションおよびデバイス。管理ステーションは、クエリーの送信も行います。
- ドメイン メンバー：電力を消費するシスコのスイッチ、ルータ、およびネットワーク デバイス。ドメイン メンバーは、他のシスコ デバイスやエンド ポイントで構成される EnergyWise ドメインにメッセージを転送します。また、管理ステーション、および他のドメイン メンバーに対してクエリーの転送とクエリーへの応答を行い、エンド ポイントから電力消費量情報を集約します。
- エンド ポイント：電力を消費するデバイス。クエリーに応答するのはエンド ポイントだけです。

ネットワーク例

図 1-2 建物 1 内の EnergyWise ネットワーク



1	ルータ A	5	スイッチ C
2	ルータ B	6	IP phone
3	スイッチ A	7	アクセス ポイント
4	スイッチ B		

表 1-1 ネットワーク設定例

デバイス	モデル	IP アドレス	接続している IP Phone の数	接続しているアクセス ポイントの数
ルータ A	Cisco 2951	192.168.1.1	—	—
ルータ B	Cisco 2951	192.168.2.1	—	—
スイッチ A	Catalyst 3750E-48PD	192.168.1.10	2	1
スイッチ B	Catalyst 3750E-48PD	192.168.1.20	1	1
スイッチ C	Catalyst 2960-48PST-S	192.168.2.10	2	0

Cisco EnergyWise をサポートしている Cisco IOS ソフトウェア リリースについては、Cisco.com を参照してください。

